

コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2020年5月29日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年5月29日時点

基準価額

12,344 円

(前月末比)

+689 円 (5.91%)

純資産総額

7.7 億円

(前月末比)

+0.6億円 (8.16%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	5.91%
3ヵ月	4.81%
6ヵ月	△4.75%
1年	6.82%
3年	6.51%
5年	7.73%
10年	-
設定来	23.44%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2015年12月	0円
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	92.0
静岡銀行株式	7.5
現金等・その他	0.5
構成銘柄数	31社

※2020年5月29日時点



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	19.0%
化学	18.1%
電気機器	12.8%
サービス業	9.7%
輸送用機器	5.7%
卸売業	4.8%
陸運業	3.5%
医薬品	3.5%
食料品	3.4%
小売業	3.1%
建設業	3.0%
金属製品	3.0%
繊維製品	1.3%
その他	9.0%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	13.6%
新素材	13.3%
生活ソリューション	13.0%
ウェルネス	12.8%
快適空間	9.4%
資源・エネルギー	7.8%
ライフサイクル	6.9%
未来移動体	5.7%
地球開発	5.6%
社会インフラ	2.9%
その他	9.0%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
2 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	3.5%
3 エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.5%
4 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
5 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.5%
6 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.5%
7 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.4%
8 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.4%
9 味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う	3.4%
10 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.3%

※2020年5月29日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

5月のファンドの月間リターンは+5.91%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ (コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

5月の内外株式市場は、新型コロナウイルスの拡大に伴う世界的な自粛期間を経て、各国で経済活動が再開しはじめたことで大幅高となりました。

各種経済データの悪化や米中対立の再燃など、懸念材料に対する株式市場の反応が鈍感な期間にもなりました。特に、国内株式市場は日経平均株価で8%を超える上昇となるなど世界の株式市場の中でも上昇が際立ちました。物色対象も月末にかけて広範囲に広がるなど、強い相場の特徴が現れていました。マザーファンドは月間で+6.24%の上昇、投資先30銘柄中24銘柄が値上がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+6.82%、日経平均株価は+8.34%の上昇でした。

当ファンドは慎重な運用スタンスを維持しました。現金比率も9.0%と高値は追わず、買い余力を残しています。個別銘柄ではヤマトHD+26.27%を筆頭に8銘柄が10%を超える上昇となりパフォーマンスに貢献しました。これまでの戻り相場が急ピッチだったこともあり、今後は、選別物色の局面に入ると考えています。決算発表シーズンから株主総会シーズンに移行する季節で、企業ごとのコロナ禍での取り組み、また、アフターコロナに向けた取り組みが確認され、それらを受けた厳選投資の局面です。まさに、当ファンドの真価が発揮出来る環境と考えています。

引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

◎ (2371) カカクコム

5月はカカクコムの株価が18.45%上昇しました。

新型コロナウイルスの流行を抑えるために実施していた緊急事態宣言が解除へ向けて動き出すなか、経済活動再開への期待が広がったことが背景にあります。4～6月の状況に目を向けると、新型コロナウイルスの影響で、食べログ事業を中心に大きなマイナス影響を受けると考えられます。食べログ事業は売上構成比で41%（2020年3月期第4四半期）を占めます。

同社は、厳しい環境が続いている顧客への支援策として、直接契約しているレストランに対して、4月、5月の基本料金及び従量料金を無償化しました。6月以降の方針は明らかになっておりませんが、飲食業の本格回復には時間がかかるとみられます。会社側の一番の想いは「外食産業を新型コロナウイルス以前のように復興させたい、あるいは新型コロナウイルス以前より盛り上げたい」。

私たちは、短期的な利益というより、社会への貢献を鮮明にする同社の姿勢に注目しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎ (6367) ダイキン工業

5月はダイキン工業の株価が13.17%上昇しました。

各国でロックダウン解除の動きが徐々に広がり、外出自粛により落ち込んでいたエアコン販売が徐々に回復に向かうとの期待感などが株価上昇につながったようです。

5月13日にダイキン工業主催の機関投資家向け決算説明会が電話会議形式で開催されました。十河社長から、新型コロナウイルスへの対応として、1月末以降、対策本部を立ち上げ、守りの施策43テーマ、攻めの施策31テーマ、体質強化の施策17テーマを実行中とのことでした。その結果、新型コロナウイルスの業績に与える影響を極小化できていて、“今後も必ず乗り越える。”と、熱っぽく説明されました。2021年度の業績は新型コロナウイルスの影響で一旦落ち込みますが、上記の施策を着実に実行することで、逆風下の中、競合に大きく差を付けていくとのことでした。

また、コロナ禍において、空気質（建物内等の空気中のガス成分量）の向上、換気、空気清浄、除菌、洗浄などへのニーズが急速に高まっていて、それらに関連する製品には追い風となることが期待されます。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (3407) 旭化成

旭化成の2020年3月期決算は、営業利益が前年比15.4%減の1,773億円となりました。中国市場の成長鈍化、自動車市場の減速、石化市況下落といった逆風はありましたが、住宅、ヘルスケアの両セグメントでは利益を伸ばし、そのマイナス影響を緩和する構図となっています。ただし、新年度の予想は非開示としており、当面は厳しい状況が続くと思われるので、外部環境の変化に柔軟に対応したメリハリある投資戦略などの打ち手に期待しています。また、米国子会社ZOLL社では、世界的に不足している人工呼吸器を生産していますが、これまでの25倍となる月間1万台まで生産能力を増強しようとしています。現状では米国政府との契約に基づいて供給していますが、いち早く世界中へ届けられる態勢となることを望んでいます。

アナリスト 原嶋 亮介



こどもトラスト

「放課後アフタースクールを応援したい！」（小3）

自分も学童に通っていて、大好きな場所でもあるので、もっと良くなったらいいと思う。そのために寄付を使って欲しい。

「WELgeeを応援したい！」（小5）

（難民の人たちに）せっかく才能があるのに、それを考え方の違いなどで差別されて発揮できないのはとてももったいない。だから、その才能を日本で発揮してもらうために、支援したい

「親子の未来を支える会を応援したい！」（小6）

妊婦さんが相談できるところがあると安心だと思う。妹がお腹にいるときのお母さんを思い出して、妊婦さんや赤ちゃんは支えてあげなければいけないと思っている。

GWだというのに旅行もお出かけも、親戚で集まることも難しくなってしまった今年のこどもの日。それでもきっと、この状況下で何か楽しいことはできないか趣向を凝らされたご家庭も少なくなかったのではないのでしょうか。

子育て世代を応援する私たちコモンズ投信も、この日、何かみなさんのお役に立てることができないか考え、実行したことがあります。初の「オンラインこどもトラストセミナー」です。

ちょうど私たちの寄付のしくみSEEDCapの選定期間中ということもあり、ZOOMを使って寄付の教室を開催しました。私たちからご紹介する支援活動の団体から、自分だったらどこに寄付をするか、選択するワークショップ。自分はどんな理由で選ぶのか、ひとりずつ発表していきます。

小3から中1までの10名が参加した高学年の部では、実際に現在の最終候補者の中から寄付先選びをしました。オンラインならでは、福岡や高知から参加してくれたお子さんもいました。そしてこどもたちから上がったのが文頭の声です。

保護者の方からもこんな感想が寄せられています。「紹介されたNPO団体に対して、みんな自分の意見をきちんと述べていてびっくりしました。大人より逆にまっすぐな気持ちをストレートに言葉にしてくれるので、聞いている大人にも響きますね。」「子供は声に出さずとも、色々と感じ取っていると思います。頭に残る内容だったと思います。何年後かに、この日の記憶が蘇るような気がしています。貴重な体験をありがとうございました。」

新1年生を中心に11名のこどもたちが参加した低学年部。こちらの様子は参加された保護者の方が、ご自身のブログでご紹介くださっています。

[【参加レポート#4】コモンズ投信で学ぶ寄付の教室](#)

5月は他にもオンラインで[お金の教室](#)や[保護者会](#)も開催しました。

私たちは今後も、多くのお子さんたちの「未来を信じる力」を応援して参ります！

マーケティング部 馬越 裕子





【企業の真の実力が発揮される局面】

全国で緊急事態宣言が解除され徐々に経済活動が再開してきました。

さて、株式市場は先見性を持つことが歴史的に知られますが、世界的な経済活動の再開を織り込んだ株式市場は、既に、生活者の実感よりも早く大きく戻り始めました。主要国の株式市場は、これまでに下げ幅の半分以上を戻してきています。急ピッチな上昇は終盤に差し掛かり、ここからは少し時間をかけてコロナ禍を消化していくステージに入っていくと考えています。

具体的には、個別企業の選別が進むステージになると思っています。例えば、5月末時点で当ファンドの投資先の中で昨年末よりも株価が上昇している企業は11社もあり、特にヤマトHD+27.7%、シスメックス+15.6%、ユニ・チャーム8.4%、SMC8.1%、リンナイ6.1%などは大きく上昇し、株価的にはコロナ禍を乗り越えています。事実、今回の決算発表を見てもコロナ禍での対応力が素晴らしい企業群です。もちろん、これらの企業も厳しい環境下での事業運営をされていますが、この株価の上昇はアフターコロナにおける企業の活躍を先取りしていると思います。このような企業の選別が株式市場で進むことになると考えているのです。

一方で、コロナ禍の中での当社運用チームは、より調査活動を活発化しています。企業の決算説明会ははじめ個別取材にいたるまで、現状では全てオンラインやテレホンカンファレンスに変わり、当社の運用チームも完全に在宅ワークになっています。企業から企業への移動時間や通勤時間が無くなったことで、これまでの企業取材は一日4~5件が最大でしたが、今は7~8件まで拡大する日もあります。

また、こうした危機が発生した時は、いつも以上に企業調査の重要性が増します。人も企業も危機に遭遇しピンチに陥った時に、実力が試されるものです。企業でいえば、経営者が本当は何を大切にしているのか、平時に準備はされてきたのか、過去の危機時の教訓は活かされているのか、企業統治は形だけになっていなかったかなど、投資家としては、これまでに見え難かった企業の姿、文化が分かる貴重な機会となります。

当ファンドは、企業を分析するときに①収益力、②競争力、③経営力、④対話力、⑤企業文化で企業の特徴を整理しています。この中で、②競争力から⑤企業文化までは、非財務的な見えない価値です。この機会に、これまで長年に渡り積み上げてきた企業分析をさらに深めて参ります。今後、こうして得た企業情報をしっかりと運用に活かし、また、皆さんに企業情報としてお伝えする機会を増やして参ります。

どうぞ、引き続き、当ファンドにご期待ください。

代表取締役社長 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくご申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間/平日 午前9時～午後5時）03-3221-8730

■ウェブサイト <https://www.common3.jp/>